

国家資格技能検定 3 級機械加工（普通旋盤作業）

合 格

機械科 3 年生の佐藤渚斗君が国家資格 技能検定 3 級機械加工（普通旋盤作業）に合格しました。旋盤は学校の授業でも扱いますが、それだけでは合格が出来ないので、休日や夏休みも自主的に練習をして来ました。

旋盤とは素材をチャックと呼ばれる固定部分に装着し、回転をさせながら、バイトと呼ばれる切削工具で加工を加える工作機械のことです。操作盤や形状はメーカーによって異なりますが、工作機械を作るためには必要不可欠な機械であるために、「マザーマシン」と呼ばれることもあります。右の写真は、加工途中で寸法を測定している様子を示したものです。漫然と加工を行うのではなく、正確な寸法に仕上げる必要があります。そのためは正しく測定する技術も求められます。また、正しく切削が出来ているかどうかは、切削粉の形状、色等で判断出来るため、作業中は五感をフル回転させて、作業に集中します。（下は切削粉の写真）



技能検定とは「働く人々の有する技能を一定の基準により試験を行い、国として証明する国家検定制度」のことです。昭和 34 年に開始され、現在では 131 職種において実施されています。合格すると技能士として国から認定されます。

技術は学ぶものですが、技能は身に着けるものです。それは個人の能力になるわけですので、進路決定には勿論、長い人生では、きっとどこかで生きる力になると思います。



前期・後期に受験機会があり、機械科では現在は後期受験に向けて旋盤を含め、3 種目の受験申請を行っているところです。